

※2021年5月2日～2023年5月1日の期間

教育研究業績書

氏名	かたやま きよかず 片山 清和	職名	教授（修士（工学））
専門分野	情報工学		
所属学会	情報処理学会、医療情報学会		
担当科目	データ統計処理、ハードウェア概論、専門演習 a、専門演習 c、環境情報特別講義Ⅲ、基礎演習 a、環境情報学概論Ⅰ、基礎コンピュータⅠ、コンピュータ動作論、データサイエンス序論、情報科学、プログラミング実習基礎、専門演習 b、専門演習 d、基礎演習 b、基礎コンピュータⅡ、Web プログラミング 1		
I 教育活動			
	教育実践上の主な業績	概	要
1. 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）	<p>環境情報特別講義Ⅲ以外のすべての科目において講義で使用したスライドをカラーの PDF ファイルにして学習支援システム（Moodle）にアップロードし、履修者がいつでも閲覧し、学習できるようにした。</p> <p>基礎コンピュータⅠでは、情報リテラシーの内容においては学生に調べさせたり、グループで議論させたりするアクティブラーニングを取り入れ、深く学べるように工夫した。また、コンピュータリテラシーの内容においては例題を講義中に一緒に作成し、作成した例題を提出させた。また、例題で学習した操作を行う実習課題を課した。これによって、学生が操作法を身につけるだけでなく、講義に出席し注意深く講義を聞く姿勢を身につけるようにした。</p> <p>ハードウェア概論の授業では、キーボードやマウスや HDD などのハードウェアを中身が見える状態で授業中に回覧させ、学生がより興味を持ったり、より理解できるように努めた。</p> <p>データ統計処理の授業では、毎回の講義では、新しい内容に入る前に、前回に学習した内容を簡単にまとめるとともに、ミニ演習問題を用意し、問題を解くことで学生の理解を深めるように努めた。また、新しい内容を深く理解できるように、例題と複数のミニ演習問題を用意した。また、学生に公開している講義スライドでは、例題や練習問題のみを提示し、講義中に使用するスライドでは、問題を解く過程をステップバイステップで示し、解法の理解が深まるように工夫した。</p>		
2. 作成した教科書、教材、参考書	<p>データ統計処理の授業において、各講義で復習の演習問題、例題、ミニ演習問題を合計 50 題程度作成した。この教材は講義内容を理解、習得できるように配慮して作成した。</p> <p>環境情報特別講義Ⅲの授業において、確認テストを作成し、学生の理解を深めるように努めた。</p>		
3. 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	海翔高校での進路ガイダンス（2023年3月）		
4. その他教育活動上特記すべき事項	なし		
II 研究活動			
なし			
III 社会における主な活動			
役員・委員等			
2022年4月～2022年8月	四日市市データプラットフォームプロポーザル審査委員（四日市市）		